

全国組織関係団体活動報告



全日本実業団剣道連盟
理事長
小杉 信太郎

実業団剣道のこれまでの動きと現状について申し上げます。

1、全日本実業団剣道連盟の設立
太平洋戦争終戦直後の剣道抑圧の状況から撓競技などの変遷を経て、昭和27年10月に全日本剣道連盟が結成されるなか、実業団の剣道は、球技や柔道・駅伝等とともに、全日本実業団体育連盟が所管し、その準備・運営を特定の当番会社にて全国大会を実施していた。剣道は昭和32年までに計4回開催されたが、年々参加者が増え当番会社の負担が問題となり、また一層の発展も図るべく、独立した組織として昭和32年11月23日に設立された。

2、理念

初代矢野一郎会長の第1回大会開会挨拶をここに引用する。「由来剣道は人間を作る修行の場として、一生涯これが続けて習うべきものでありますので、他の体育スポーツと異なり、実業人はその技に於いて我が国剣道界の中核をなすものでありますから、社会に對

する責任や大なりと言うべきであります。本日もこれより、日頃練習修養のあとを遺憾なく態度に示されて、徒に勝負に拘泥することなく秩序あり気品ある歴史的なる大会を持つようお願い致します」。

3、会員

加盟している会員数は、北海道から沖縄まで全国にわたり、現在45団体となっている。社会的・経済的情勢の変化により、実業界はその業容によって隆盛な分野がある一方、一部に衰退していく産業があるのもやむを得ないところである。企業の幹部には、自ら剣道を嗜み、または、剣道に深い理解を示す方がおられるが、社会人の人づくりに剣道を役立たせるべく、福利厚生としての社員の剣道を活性化するためにも、こうした方々の剣道に対する配慮を切にお願いしたい。

4、全日本実業団剣道大会

例年9月中旬に日本武道館で開催しており、今年は9月15日(月・祝)に第57回を過去最多の34チーム参加で開催の予定である。第1回は昭和33年9月21日に東京後樂園ジムナジウムで75チーム参加して行われたが、その後、大阪・名古屋・東京と会場を移し、第7回の昭和39年以降は、東京オリ

ンピックの柔道会場となった日本武道館で連続して開催している。

5、全日本実業団女子・高壮年剣道大会

近年の女子剣道人口の増加を背景として、また、生涯剣道の観点から、平成10年3月21日第1回大会を東京武道館で実施する運びとなった。参加数は女子61チーム、高壮年個人は354名であった。今年高壮年大会を既に3月8日(土)、女子団体が106チーム、高壮年個人は五段以下が284名、六段以上が47名参加して行われた。なお、女子の部の審判は主任を除き女性主体で編成しており、また、開会式では女性による日本剣道形の演武をおこなっている。

6、後援事業

各地区実業団剣道大会への後援を行っている。以下昨年の実績だが、何れも女子の部を同時に開催している。

- (1) 東北実業団剣道大会 (第45回) 10月13日 宮城県加美町新田体育館
- (2) 関東実業団剣道大会 (第55回) 6月2日 日本武道館
- (3) 中部地区実業団剣道大会 (第47回) 6月23日 パークアリーナ小牧

(4) 近畿実業団剣道大会 (第50回) 6月30日 パナソニックアリーナ体育館

(5) 九州実業団剣道大会 (第49回) 10月13日 福岡武道館

7、終りに

世界有数の高齢化が進む我が国において、学生時代から社会人へ、更に定年後へと、いかに充実した心身健全な生活を送れるかは極めて重要である。幸いにして剣道は高齢でも充分稽古できるし、心の持ちよう次第で上達することも可能である。私事で恐縮だが、小生、週に3〜4回は稽古を楽しんでいる現状で、学生時代から今に至るまで、稽古を頂戴したすべての方にこの場をお借りして御礼申し上げます。最後に、今後の実業団剣道の一層の隆盛と発展を心から祈念申し上げます。

連盟事務局
〒111-0032 東京都台東区浅草7-1-7 宇賀神ビル3F
電話・FAX 03-5603-2601
メール taikai@j-kendo.jp
ホームページ <http://www.jp-kendo.jp>